



会報くやまたん

令和6年(2024年)

3月号

令和6年3月1日発行

発行者 村越百々代

我孫子市東我孫子 1-29-7

編集者 福山 智

やまたん



2/17 新人卒業山行

新人研修を終え、 新たな仲間にも！

3月の総会・定例会は、3月3日(日)
@湖北台近隣センター(スリッパ持参)

受付 : 13:00 ~

総会 : 13:30 ~ 15:30

定例会 : 15:40 ~ 17:00

会費、労山基金及び新人歓迎山行
参加費受付(総会前13:00~)

- ◆ 次年度会費 : 9千円 (会友5千円)
- ◆ 労山基金 : 2千円 + 増加口数 × 1千円
- ◆ 新人歓迎山行参加費 : 8千円 (参加者のみ)

定例山行計画

ご案内



(仮) 定例山行計画		高川山 (973m)		リーダー：千葉 グレード：2B	
月 日	2024 年 3 月 23 日（土） 日帰り				
山 域	中央線沿線	地形図	初狩駅-羽根子山-高川山-むすび山-菊花山-大月駅 - 2024 年 01 月 27 日 [登山・山行記録]-ヤマレコ (yamareco.com)		
目 的	旧登山道から登る 富士山展望				
費 用	約 3,000 円	交通機関	JR		
行 程	我孫子駅→初狩駅(8:30 集合)⇒60 分⇒下初狩三角点⇒屏風岩⇒20 分⇒大岩山⇒向峠(鍵掛峠)⇒50 分⇒神馬沢ノ頭⇒15 分⇒羽根子山⇒30 分⇒高川山⇒80 分⇒尾曾後山⇒天神峠⇒10 分⇒峯山⇒20 分⇒オキ山⇒30 分⇒むすび山⇒30 分⇒大月駅→我孫子駅 ＜歩行時間 6 時間＞				
メ モ	▪ 以前利用されていた旧登山道を登ります ▪ 初狩駅から歩き始め、新登山道に合流するまでかなり急な道のアップダウンが続きます ▪ ほかの登山者はほとんどなく、登りは静かな山を楽しめます ▪ 登り、山頂とも天気がよければ富士山展望が素晴らしい ▪ 合流直前ピークからの下りにはロープあり ▪ 現在の登山道より歩行時間も長い ▪ 下りは普通の登山道を大月駅まで ▪ 休日おでかけパスを利用				

(仮) 定例山行計画				リーダー:高橋芳 グレード:1A	
花見山～十万劫山 (じゅうまんこやま) (265m～429m)					
月 日		令和6年3月24日(日) 日帰り			
山 域		福島	地形図 (又は日 の出日の入り)	1/25000 福島	
目 的		ガンバレ! 福島			
費 用		約 8,500 円 (ジパング会員) 約 12,000 円 (一般)	交通機関	JR/新幹線・バス	
行 程		我孫子 5:31→上野 6:04/6:26 やまびこ 201 号→福島 8:09/8:30→臨時バス停→桃源郷展望台 ⇒茶臼山・古峰神社⇒花の谷⇒花見山公園入口 8:45⇒花見山公園山頂展望台 (265m) ⇒分岐 ⇒十万劫山 (429m) ⇒茶屋の桜⇒茶屋沼公園⇒バス臨時駐車場 < 歩行時間 約 5 時間 >			
個人装備		日帰りハイキング一式			
メ モ		▪ 花見山は写真家の秋山正太郎氏が「福島に桃源郷あり」とたたえ、全国に紹介した花の名所です。市内のボランティアの皆さんが案内して福島の名所を盛り上げています。 ▪ 十万劫山は行基が「この地は聖地なり。永劫に鎮まり、慈悲を垂れたまえ」と祈念したと言われる花見山の裏にひっそりとたたずむ山ですが、安達太良と吾妻山の展望が楽しめます。 ▪ どなたでも安心してご参加下さい。			

(仮) 自然保護活動計画 どんぐり散歩 17 手賀の丘			リーダー:小野 グレード:1A	
月 日	令和 6 年 3 月 25 日 (月) 日帰り			
山 域	柏市手賀の丘周辺	地形図	1/25000 取手	
目 的	身近な里山の自然観察をする			
費 用	約 0 円	交通機関	車、自転車、徒歩	
行 程	9:00 どんぐりの家前集合⇒里山歩き⇒昼食⇒里山歩き 解散予定 14:00			
個人装備	登山靴は不要です。虫眼鏡、またはルーペがあれば尚良いです。			
メ モ	▪ 雨天中止。前日 12 時までにメールで連絡します。要返信です。 ▪ 昼食持参をお願いします。			

(仮) 定例山行計画		角田山 (481.7m)		リーダー：小島洋 グレード：1A	
月 日	2024 年 3 月 30 日（土） 日帰り				
山 域	新潟西蒲区		地形図	1/25000 角田山	
目 的	雪割草の観賞				
費 用	約 21,000 円 (ジパング会員 15,000 円)		交通機関	JR・タクシー	
行 程	我孫子 6:13→上野 6:45/7:10 新幹線とき 303 号→燕三条 8:43/9:02→吉田 9:15/9:19→ 巻駅 9:30（タクシー）→五か峠コース 10:00⇒三望平⇒角田山⇒灯台コース 14:30（タクシ ー）→巻駅 15:06→吉田→燕三条（新幹線）→上野→我孫子 19:31 ＜歩程時間 3.5 時間 （休憩時間含まず）＞				
メ モ	▪ 新幹線利用の為、費用が高い。 ▪ 角田山に登るコースは 7 コースあり、登りは一番なだらかなコースを選択。 ▪ 下りのコースは変更することもあります				

(仮) 自然保護活動計画		リーダー：小野 グレード：1A	
どんぐり散歩 18 自然教育園			
月 日	令和 6 年 4 月 19 日（金） 自然保護活動		
集 合	常磐線各駅停車 明治神宮前行き 8:18 我孫子発（柏発 8:25）の 1 号車内		
目 的	国立科学博物館附属自然教育園内を観察する		
費 用	約 2,000 円	交通機関	常磐線各停千代田線、 東京メトロ南北線
行 程	我孫子駅 8:18（千代田線明治神宮前行き 1 号車）→柏 8:25→国会議事堂前駅着 9:22⇒駅構内を歩いて溜池山王駅 9:32→白金台 9:42⇒自然教育園 （帰路は逆コース。自然教育園を遅くても午後 2 時には出る予定。） ＜歩行時間 ゆっくり約 2 時間＞		
個人装備	都心です。 靴はウォーキングシューズで結構です。		
メ モ	▪ 雨天中止 中止の際は前日 12 時までに連絡します。返信を必ずお願いします。 ▪ 65 歳以上の入園料は無料です。年齢を示せるものを持参してください。 ▪ 65 歳より若いと 320 円の入園料が必要です。 ▪ 昼食準備願います。		

(仮) 定例山行計画		高尾山～陣馬山 (599m～854m)		リーダー：富井容 グレード：2A	
月 日	令和 6 年 4 月 20 日（土） 日帰り				
山 域	八王子		地形図	1/25000	
目 的	白富士を眺めながら新緑の尾根道を楽しむ				
費 用	約 5,000 円		交通機関	JR 及び京王電車 西東京バス	
行 程	我孫子駅 5:42→高尾山口駅 7:42/8:00⇒高尾山 9:30⇒城山 10:30⇒景信山 11:30/昼 12:00⇒陣馬山 14:00⇒陣馬高原下バス停 15:30/(バス) 15:32→高尾駅 16:10/16:30→我孫子 駅 18:20 ＜歩行時間 約 7 時間 30 分＞				
個人装備	個人装備日帰り一式				
メ モ	▪ 集合場所及び時間 高尾山口駅改札口 8:00 ▪ 常に富士山を眺めながら楽しめる初級コース ▪ 西東京バス 042-650-6660 ▪ 緊急時連絡先：高尾警察署 042-665-0110 八王子消防署 042-625-0119 ▪ 雨の場合は中止				

(仮) 定例山行計画		至仏山～スズヶ峰～平ヶ岳 (2, 228m～1, 953m～2, 139m)		リーダー: 白崎 グレード: 4D	
月 日		2024 年 4 月 27 日 (土)～30 日 (火) 2 泊 3 日 or 3 泊 4 日			
山 域		尾瀬	地形図	1/25000	
目 的		尾瀬の残雪期限定ルートを楽しむ			
費 用		約 20, 000 円	交通機関	マイカー	
行程	1 日目	我孫子 4:00→尾瀬戸倉 7:40→鳩待峠 8:00⇒至仏山 11:30⇒スズヶ峰 15:30 (テント泊) ＜歩行距離: 11.3km 累積標高差: 1, 000m 歩行時間: 約 7 時間＞			
	2 日目	スズヶ峰 6:00⇒平ヶ岳 10:00/10:30⇒スズヶ峰 14:30 (テント泊) ＜歩行距離: 12.1km 累積標高差: 760m 歩行時間: 約 7.5 時間＞			
	3 日目	スズヶ峰 7:30⇒至仏山 11:00⇒鳩待峠 13:30→尾瀬戸倉 14:30→我孫子 20:00 ＜歩行距離: 11.3km 累積標高差: 700m 歩行時間: 約 7 時間＞			
	4 日目	予備日			
個人装備		雪山テント泊のフル装備			
メ モ		▪ 初日にどこまで歩けるかがポイントになります。スズヶ峰が目標ですが、その手前であっても、15 時半には幕営地を決めてテントを設営したいと思います。 ▪ スズヶ峰にテント泊できた場合、翌日の平ヶ岳往復は、十分に可能かと思います。幕営地がスズヶ峰により手前（至仏山寄り）になった場合、2 日目の引き返し時刻は 10 時 30 分として、行けるところまでとします。 ▪ 雪の状態によって、スズヶ峰から山の鼻に降りるという選択も可能です。ただし、尾瀬ヶ原に降りることは比較的簡単ですが、雪解けの湿地が歩ける状態なのか、沢の渡渉は可能なのかどうか等、詳細に検討する必要があります。 ▪ 行程は天候や雪の状態によって左右されるため、1 日予備日を設けています。とはいえ、山中での停滞は避けたいところですので、山行日程中に雨予報の日があれば、日程を変更します。また、その日程調整が難しければ、中止とします。			

(仮) 定例山行計画		岩殿山 (634m)		リーダー:松下 グレード:1B	
月 日	令和6年5月12日(日) 日帰り				
山 域	大月市		地形図(又は日 の出日の入り)	1/25000	
目 的	山城に登る				
費 用	約 2,720 円 (休日お出かけパス)		交通機関	電車	
行 程	大月駅 08:30 集合 大月駅 09:00⇒登山口 09:25⇒畑倉ルート登山口⇒鬼の岩屋⇒岩殿山頂上(岩殿山城跡)⇒兜岩⇒天神山⇒稚児落とし⇒浅利川の橋⇒浅利公民館前バス停⇒大月駅 大月駅解散 ＜歩行距離：約 9km、歩行時間：約 5 時間 30 分＞				
個人装備	日帰り装備一式				
メ モ	▪ 雨天中止とします。判断は前日 12 時までにはします。 ▪ 歩行時間は、ヤマケイのコースタイムを 1.2 倍で計算しました。 ▪ 岩殿山頂上までの南からのルートと東からのルートは 2019 年の台風により以前通行止めとなっているため、北側の畑倉登山口から登ります。 ▪ 兜岩あたりには鎖場があります。手袋は必須です。 —— 以下、雑メモ —— ▪ 鬼の岩屋：鬼が住んでいたといわれている洞窟 ▪ 岩殿山城：武田信玄家臣の小山田氏の城。織田信長に追われていた武田勝頼が小山田氏を頼って岩殿山城に来たが、入城を断られ、勝頼はあえなく自害となり、武田氏滅亡。 ▪ 稚児落とし：その後小山田氏は信長から追われるようになり城から脱出。逃げている最中に稚児落としの場で赤ん坊が泣きだし敵に見つかるのを恐れ、赤ん坊を崖の下に突き落としたという逸話の場所。				

(仮) 定例山行計画		リーダー：小山 グレード：1A	
長者ヶ岳～天子ヶ岳 (1,336m～1,330m)			
月 日	令和6年5月17日(金)～18日(土) 1泊2日 テント泊		
山 域	富士山周辺 (静岡県)	地形図	1/25000
目 的	富士山と駿河湾を一望する		
費 用	約 13,000 円 (交通費と幕張料)	交通機関	JR・路線バス、 他 (高速バス)
集合解散	集合場所：富士宮駅 8:30 解散場所：休暇村富士		
行 程	1 日 目	我孫子駅 5:31→上野→(新幹線こだま)→富士宮駅 8:25/ (タクシー) →キャンプ場 9:10/ テント設営と昼食 (持参) 9:10～10:30/テントサイト 10:30⇒休暇村富士 10:45⇒休暇村分 岐 11:45⇒長者ヶ岳 12:55 (休 10 分) ⇒コル⇒天子ヶ岳 13:35 (休 10 分) ⇒長者ヶ岳 14:40 ⇒休暇村 16:15⇒テントサイト 16:30 夕食 (泊) ＜歩行時間 5 時間 10 分 歩行距離 約 8.6km＞	
	2 日 目	朝食後、テントを撤収→集合場所へ やきそば EXPRESS 場合 解散場所 10:20→東京駅 13:51→JR で各駅へ 路線バス場合 解散場所 9:10→富士宮駅 9:55→JR で東京駅→各駅へ	
個人装備	テント泊一式		
メ モ	▪ 山行受付簿には、会のテントを希望される方は◎を、個人テントを希望される方は○を付けてください。幕張料はどちらも 3,500 円。会テントの使用者はそれを人数で割ります。 ▪ 会のテント泊の方は共同食、個人テントの方は各自で自炊と考えていますが参加者で話し合って決めようと思っています。 ▪ キャンプ場では、この時期は 19 時を過ぎても明るくのんびりできます。 ▪ ゴヨウツツジの花 (「愛子さま」の御印) を、長者ヶ岳から天子ヶ岳までの間で鑑賞することができます。 ▪ 雨天時は中止とします。		

定例山行報告

定例山行報告		千葉県連 房総ハイキング（浪花～御宿）		リーダー：小島洋子 グレード：1A	
月 日	令和6年1月27日（土） 日帰り				
山 域	浪花駅～御宿		地形図	1/25000	
目 的	千葉県労山参加の山岳会メンバーとの交流及び南房総の海岸線と山々の景観を楽しむ				
費 用	約 4,000 円 （ジバング会員往復 2,760 円）		交通機関	JR	
行 程	我孫子駅 6:00→新松戸→幕張豊砂→蘇我→上総一ノ宮→浪花駅 8:24 浪花駅 8:40→八幡神社 9:00→岩船地藏尊 9:30→釣師海岸 9:55→尾根道→小浦海岸 11:30 （昼食）/12:00→メキシコ記念塔 12:45→岩和田海岸 13:10→月の砂漠海岸 13:25→御宿 駅 13:50→我孫子駅 17:40 歩程時間 5 時間 10 分（休憩時間を含む）				
ルート 状 況	▪ 海岸線を浪花駅から御宿駅まで歩きました。 ▪ 岩船地藏尊や釣師海岸での浸食した岩やメキシコ記念塔、月の砂漠海岸を見学しました。 ▪ アスファルト道ですが、小浦海岸より尾根道に入り急な坂が一か所ありました。結構な歩き道があり、やはり、土の道歩きがベストです。				
参加者	(L) 小島洋、(SL) 北田、(やまなみ) 中村八重子、(写真) 吉川、(記録) 北角、(旗) 石塚、外崎、大平、矢野朝水、村越 女性 7 名、男性 3 名、計 10 名				
メ モ	▪ 千葉県ハイキング委員会主催、参加者 50 名（関東ふれあいの道千葉 17: 浪花～御宿） ▪ 穏やかな日とで、海のすばらしさに感動しました。海の先には世界があります。 ▪ 岩和田海岸ではサーフィンをしている人が多く見受けられました。 ▪ 釣師海岸一帯の海蝕崖は高さ 60m 程のほぼ垂直に切り立った断崖で外房第一の外洋的景観を呈している。 ▪ メキシコ記念公園は 1609 年、フィリピンからメキシコに向かうスペイン船が嵐に会いこの地に難破し乗組員が村民に救済された。この史実を記念し碑が建てられた。 ▪ 童謡「月の砂漠」は、学生時代この地に遊んだ「加藤まさる」さんが大正 12 年にこの砂漠をモチーフに作詞したものとされている。 ▪ 帰りに千葉駅構内のお店で反省会。				



道路に咲いていた水仙



釣師海岸からの風景



メキシコ記念公園にて



月の砂漠をバックに集合写真

準定例山行報告		リーダー：秋山 (提案・企画：北角) グレード：2B	
沼津アルプス（鷲頭山） (392m)			
月 日	令和6年2月3日(土) 日帰り		
山 域	伊豆	地形図	1/25000
目 的	富士山や駿河湾を観ながら歩く		
費 用	約 5,000 円	交通機関	JR、バス
行 程	東海道線沼津駅 8:41／沼津駅(東海バス)9:10→9:20 黒瀬バス停→香貫山登山口 9:30→香貫山 10:00→横山 10:55→徳倉山 11:45（昼食）／12:25→志下山 13:05→小鷲頭山 13:45→鷲頭山 14:00→志下峠 14:40→志下公会堂前バス停 15:10→沼津駅 15:35		
ルート状況	- 香貫山はハイキングコースであり急登も無くウォーミングアップには丁度良い。 - 横山からはロープ付きの急登が多数ありました。縦走をする6座の標高は、193m／183m／256m／214m／330m／392m と低いが、累計高度が 900m を超え景色が良くトレーニングには適しております。 - 登山道は、手作り感のある可愛い標識が整備されており、道迷いは無いと思われます。		
参加者	(L) 秋山、(SL) 千葉、(やまなみ) 中村育子、(記録) 北角、(カメラ) 小林、(旗) 福山、土田、(救急バック) 吉川 男性3名、女性5名、計8名		
メ モ	- 天気予報は「北高型となり高気圧が弱いので低い雲に覆われて、午後、霧の可能性もあるかもしれません」との予報でした。富士山は観られないかもしれませんが、駿河湾は望めトレーニング登山には申し分ないと実施することにしました。当日は低い雲、霧も発生せず良い方にはずれました。 - 最初の香貫山は標高 193m の地元の人のハイキングコースであり、多数の方と会いました。地元の人は運動靴に手提げ、お話を伺うと、野鳥に水をあげる為水を汲んでいる、天気が良いから午後から再度登る人。登山靴で大きなザックを担いでいる8人は少し場違いの感じもした。 - 香貫山の展望台では、愛鷹山に裾野を隠された大きな富士山が観られました。急遽写真タイムを取りました。 - 香貫山を下り横山を目指します。登山口を登りだすと、直ぐにロープ付きの急登が2ヶ所続きます。話し声がなくなりました。頂上到着後、横山の標識の裏側を見ると 1870 年に沼津アルプス保全の会が「横山」と命名と書いてありました。 - 沼津アルプス7座のうち「横山」、「志下山」、「小鷲頭山」の三山は保全の会が命名したと思われます。(ジオグラフィカには山名は記載されていません) - キツイ急登が続いた後には富士山、駿河湾の絶景のご褒美がありました。 - 今の時期、日の入りが早いので大平山を省いたが、全山7座縦走を目指したい。 - 柏駅出発の人はジパング利用。柏駅以前出発の人は休日パスを利用した方が安い。		



愛鷹山に裾野を隠された大きな富士山



低山にも関わらず、何度も超急登が



駿河湾と淡島



鷲頭山山頂

準定例山行報告		雲竜溪谷 (1, 550m)		リーダー:白崎 グレード:2C	
月 日	2024 年 2 月 10 日(土) 日帰り				
山 域	日光山系		地形図	1/25000	
目 的	荘厳な氷瀑・氷柱群を見に行く				
費 用	3, 100 円		交通機関	マイカー2 台	
行 程	我孫子 4:10→日光 IC 6:30→駐車場 6:55/7:15⇒林道ゲート 8:00⇒休憩 8:30/8:40⇒稲荷川展望台 9:10⇒日向砂防ダム分岐（休憩）9:20/9:30⇒洞門岩 9:55⇒雲竜溪谷降下点 11:00（昼食 30 分）11:35⇒雲竜瀑（滝壺）12:05/12:25⇒雲竜溪谷降下点 12:55/13:00⇒日向砂防ダム分岐（休憩）13:35/13:45⇒稲荷川展望台 13:55⇒林道ゲート 14:30⇒駐車場 15:00/15:30→日光 IC（途中入浴）16:35→我孫子（途中夕食 20:30） （累積標高差 900m／往復 19. 5km／歩行時間約 7 時間）				
参加者	（L・カメラ）白崎、（SL）北田、（記録）細谷、（医療）小林、（会計）土田、（やまなみ）秋山、（カメラ）鈴木				
ルート状況	▪ 当初の予定では、滝尾神社より上までクルマで上がるつもりであったが、スタック車に阻まれて滝尾神社の少し上のスペースにクルマを停めることになった。滝尾神社より上の路上には 10cm 程度の雪が積もっていて、林道ゲートにまでクルマで近づこうとすれば、四駆は必須（林道には積雪があり、アイスバーンになっているわけではなかった）。 ▪ 林道ゲートからの積雪はさらに増え、15～20cm 程度に達した（積雪後に除雪はされていない。全員ではないが、チェーンスパイクを装着）。雪質はサラサラであったものの、気温の上昇により午後には一部腐ってザラメ化している箇所があった。 ▪ 行きは洞門岩付近から河原に降りるルートを選択した。ルートは明瞭で雪は踏み固められていたが、堰堤の高巻きには慎重さが求められる。また、最後の堰堤下に繋がる踏み跡があり、そこを辿ってしまっただけで引き返すという一幕も（その堰堤上部が一般的に認識されている「雲竜溪谷」）。 ▪ 「雲竜溪谷」の看板脇の階段は雪に覆われていて、上り下りには注意が必要（その手前でアイゼンを装着）。ただし、登る際にアイゼンを蹴り込むと前爪がコンクリートに当たってしまう。 ▪ 雲竜溪谷周辺の積雪は 40cm ほど。踏み跡はしっかりしていてルートも明瞭。渡渉が数カ所あり、ポールでバランスをとっての渡渉となる。とはいえ、浅瀬に片足を突っ込んで渡るくらいの気持ちで渡渉するほうが安全。ぐらつく浮き石の上を、アイゼンを装着した状態で渡ろうとするほうがバランスを崩しやすい（実際にバランスを崩して尻餅をついた登山者がいた）。 ▪ 最深部へのルートは、夏道と同じルートに踏み跡が付けられていた（雪が多いと、直登ルートが付けられこともある）。上り下りには慎重を要する場所だが、前爪を蹴り込んで登って行く必要はなく、軽アイゼンでも登れる状態であった（最深部に向かった 5 名のうち 1 名はチェーンスパイクのみを装着）。				

メモ

- 氷柱・氷瀑は思いのほか痩せていて、残念ながら迫力に欠けるくらいがあった。
- 今回、行きに洞門岩付近から河原に降りるルートを選択したが、林道を歩き続けて雲竜溪谷に入るルートもあり、下山時にはそのルートを利用した。距離的にも累積標高差も早めに河原に降りたほうが有利（距離が短く差も小さい）だが、時間的にはほぼ同じだと思われる。
- 日中、気温がかなり上昇し、林道上では 10 度を超えていた（参加者の温度計は 12 度とか 15 度とかを指していた）。そのためであろう、雲竜溪谷では、氷柱が崩壊して落下する音がときどき聞かれた。最深部の雲竜瀑では、アイスクライミングの練習をしている人たちがいたが、雲竜瀑の氷ももろく、登りにくそうだった。
- 林道歩きが長いため、最終的に 3 万歩ほどを歩く山行となったが、ほぼ予定通りに下山した。
- 下山後に立ち寄った温泉施設は「日光温泉」。地元の人向けのこじんまりとした施設であった（露天風呂なし 700 円）。



逆光下で雪が煌めき始めると、嬉しくなってきた。長い林道歩きに必要なリフレッシュタイムだ。

洞門岩付近から河原に降りると、堰堤を高巻きすることになる。アトラクション的な楽しみでもある。



この山行でもトップを歩いてくれたのは細谷さん。秋山さんは、いつものコーヒーを昼食後と下山後に振る舞ってくれた。

いよいよ雲竜渓谷のメインディッシュのはずだったが……。以前は最も壮大な氷柱群が見られた場所がこの様だ……。残念。



雲竜瀑を背景に全員で。天候が昼過ぎまでもってくれたのはありがたかった。



雲竜瀑の落下点、最深部にまでやってきたのはこの5名。秋山さんはチェーンスパイクでここまで登ってきた。



下山開始。これから待っているのは、2時間半に及ぶ長い林道歩きだ。

定例山行報告		リーダー：高橋芳恵 グレード：2A	
葉山アルプス 二子山～仙元山 (207.6m～118m)			
月 日	令和6年2月10日(土) 日帰り		
山 域	三浦半島	地形図	1/25000 鎌倉・横須賀
目 的	葉山（三浦）アルプスを歩く 低山といえども侮るなかれ		
費 用	約 3,200 円	交通機関	JR/バス
行 程	我孫子 5:42→上野 6:15/20（熱海行）→大船 7:13/18→逗子 7:30/8:00→南郷中学バス停 8:10/40 →二子山 9:10/20→馬頭観音 10:10/15→乳頭山 11:00/20→茅塚→大桜 12:15/25→観音塚 13:45/55→仙元山 14:50/15:20→風早橋→森戸神社 15:45→バス停 16:10→逗子駅 16:30→品川 17:53→柏→我孫子 18:43 <歩行時間 約6時間>		
ル ー ト 状 況	▪ 二子山（上山）までは歩きやすい道だが、その後アップダウンの連続。 ▪ 特に乳頭山は岩山でロープ伝いに上りを繰り返す。大人数のため、休憩する広い場所がない。 ▪ 自然の回廊と言われるだけあって、とにかく長いルートになっている。 ▪ 里山ではあるが道迷い遭難が多い山で一帯が立ち入り禁止ゾーンとなっている。 ▪ 森戸川に下るコースもあり、溪流歩きも楽しめるが遭難が多発しているとのこと。		
参 加 者	高橋芳 (CL) 大畠 本田 佐藤清 田村 (SL) 外崎 田嶋 松下 (旗) 大賀 (渉外) 森岡 石塚 鈴木利 (人数確認) 新谷 山田 矢野裕 吉川 (カメラ) 村越 北角 (会計) 矢野朝 (記録) 小島洋 (全体確認) 渡辺香 (やまなみ) 小山 (医療) 男性 5 名 女性 17 名 計 22 名		
メ モ	▪ 人数が多かったが集合を逗子駅バス停としたのでそれぞれの時間で他の乗客の迷惑にはならないよう行動できた。南郷公園で一日のスケジュールと各担当の確認した後、仙元山までトイレがない為、時間をとってトイレ休憩とした。全体を 4 班として分散して行動することにした。 ▪ 二子山（上山）までは軽快に歩く。二子山展望台からは横浜の海と街並み展望できた。 ▪ コースを東逗子方面に取りながら馬頭観音に到着。江戸時代から観音様が有難い。かつては交通の要所であったことを想像した。 ▪ 乳頭山は岩山で急傾斜の岩登りが結構楽しい。気を付ければ危険はない。日陰の狭い山頂で昼食とするが、3 班は茅塚まで歩き、山頂の陽だまりで快適なお昼だったとのこと。 ▪ 大桜の木がある箇所引き込んで休憩を取り、その後、観音塚までの長さと言ったら、うんざりするほどアップダウンが続く。 ▪ ソッカからは海が見えて歩きも軽快となったが、仙元山までは長い階段の下り・上りが「これでもかー」というほどに続き、「もう少し、もう少し」と蕎麦やの出前みたいに声をかけてやっと到着した。着いた時のうれしさと言ったら、もう最高だった。 ▪ 仙元山山頂でしっかり休憩とおやつタイムを取り、江の島や葉山の優雅に浮かぶヨットに感嘆しながら、参加者は笑顔で集合写真を撮った。 ▪ 森戸海岸では期待していた真正面の富士山は見られなかったが、終着点の海はどこまでも気持ちよかった。皆様、大変お疲れ様でした！ 「低山といえども侮るなかれ！」 理解していただけましたか？		



馬頭観音



乳頭山は岩山でした



観音塚まで長かった



皆で歩けば



江の島とヨット



仙元山山頂

定例山行報告			リーダー：藤崎 指導：秋山・千葉 グレード：1A	
宝篋山 (461m)				
月 日	令和 6 年 2 月 17 日(土) 日帰り			
山 域	筑波山塊	地形図（又は日の出日の入り）	1/25000	
目 的	新人卒業山行			
費 用	約 2,000 円	交通機関	自家用車（藤崎）	
行 程	我孫子駅ロータリー集合 6:30→小田休憩所 7:55/8:15⇒こぶしの森分岐 9:15⇒宝篋山山頂 9:45/11:20⇒富岡山頂 12:05⇒要害展望所 12:20⇒小田休憩所 12:35/14:30→我孫子駅 15:45 ＜歩行時間 約 3.5 時間＞			
ル ー ト 状 況	▪ 宝篋山にはルートが 6 つあるが今回は登り極楽寺コース、下り小田城コースを歩いた ▪ 特に危険な箇所無し			
参加者	藤崎（L）山田（SL やまなみ）平野（食担） 秋山（指導）千葉（指導）			
メ モ	▪ 良い天気に恵まれ快適に登山出来た。 ▪ 下りの小田城コースでは国道に出ない中世城の道を歩いた。 ▪ 研修は山頂でテント張り、下山後調理、机上研修確認テストをした。 ▪ 新人三名、無事卒業を認めて頂きました。			



テント張り研修



完成！



富岡山頂にて

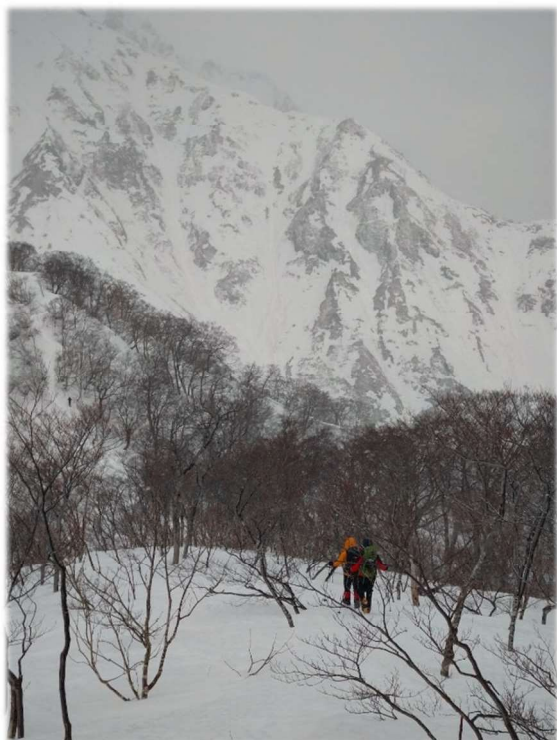


調理研修 煮込みらーめん



宝篋山頂(全員)

準定例山行報告		谷川岳 (1,977m)		リーダー:細谷 グレード:2C	
月 日	令和6年2月23日(金) 日帰り				
山 域	谷川連峰		地形図 (又は日 の出日の入り)	1/25000 水上、茂倉岳	
目 的	厳冬期谷川岳の絶景				
費 用	約 8,000 円		交通機関	マイカー	
行 程	我孫子 4:00→谷川岳ロープウェイ駅 08:20/8:57→山頂駅 9:08/9:33⇒田尻尾根分岐 10:10 ⇒熊穴沢避難小屋 10:41/11:05⇒天狗の溜り場手前 1,595m 付近 11:26⇒熊穴沢避難小屋 11:52/12:33⇒田尻尾根分岐 13:00⇒天神平駅 13:26/13:45→谷川岳ロープウェイ駅 14:00/14:17→上牧温泉風和の湯 14:58/15:40→我孫子 20:35 ＜歩行時間 4:05 距離 3.8 km 登り 452m 下り 452m＞				
ル ー ト 状 況	- 凍結した雪面上に、新雪が 10cm 程度積もった状態 - 積雪量は 2 月としては、異常に少なく、天神尾根分岐で灌木が出ている状態 - 雪底にクラックが入っている箇所があり、今後の入山には全層雪崩への注意が必要				
参加者	(L) 細谷、(会計) 土田、(記録) 鈴木				
メ モ	- 天神平は無風だったが、天神尾根から風が強くなり始め、熊穴沢避難小屋付近から強風となる。 - 天狗の溜まり場手前にて暴風となり、岩陰で暫く様子を見たが、危険を感じて撤退を決断した。 - 雪の状態が悪く、バックカントリーの入山者はいなかった。				



天神尾根を谷川岳へ向け進む



岩場を登り撤退



撤退後谷川岳をバックに①



撤退後谷川岳をバックに②

運営委員会・山行部会議議事録

令和5年度 運営委員会(12回) 議事録

令和6年2月18日(日)

1. 行事予定(令和6年3月～5月) (巻末に掲載)

2. 各部より

《会 長》*本日の拡大運営委員会に向けての沢山の資料作成をありがとうございました。
 岳人あびこは、皆で話し合っ作っていく会なので、これからは来年度に向けてフランクに話し合いができればと思っています。

《副会長》

《総務部》*新入会希望者の村松さん、倉本さんの入会が承認された。
 *会友の林さんの退会報告。
 *能登半島震災救援募金について、会の予算からの募金は見合わせる事になったが、次回の定例会時に募金箱を用意し、義援金を集めて労山に寄付することになった。また労山を通しての個人の募金は2/16以降も受け付けている。
 *総会時の役割分担について、議長は矢野(朝)さん、書記は飯塚さんに決定。
 *総会の式次第、来年度の組織図についての説明。
 *「2023年度を振り返って」グループ討議の内容を確認した。

《山行部》*緊急連絡体制についての説明。山行部副部長補佐として鈴木忠浩さんを緊急連絡網の連絡先に加える。
 *山行実績と山行計画、教育研修、新人教育研修などについての総会資料説明。

《会計部》*会計報告、会計内訳・予算案などについての総会資料説明。

《装備部》*装備品リストなどについての総会資料説明。

《会報部》*活動報告についての総会資料説明。

《県 連》*労山・県連の活動報告、活動計画についての総会資料説明。

3月定例会司会	一氏さん	やまたん原稿 締切り	3月号	2月25日(日) 福山さん
			4月号	3月25日(月) さん

高橋芳、中村(八)、武内、、千葉、、矢野貞、中村育、郷田、、村越、、新谷、室崎、、北田、、藤家、、小林安、蟹江、、森岡、白崎、田嶋、土田、松下、秋山、矢野(朝)、一氏、細谷 (運営委員23名)

1. 山行部より

労山の交流会に参加していると、他の会の山行計画書を拝見することがあります。計画書のフォーマットはそれぞれですが、概ね記載する項目に違いはないものの、他の会の計画書にあって当会の山行計画書にない項目が1つあります。それは、エスケープルートの記載欄です。計画書作成時には、どなたも天候悪化やメンバーの体調不良などの非常時のことを想定した計画を立てると思いますが、その際、ルートマップ上でこの道はエスケープとして使えそうだとことを確認したら、そのルートが実際にどんな道で今年は利用できるのかということまでチェックしていただければと思います（必要に応じて行程欄の欄外もしくはメモ欄に記載）。というのも、マイナーなルートでは、台風や大雨による崩落で使えなくなっていることがときにあるからです。ぼくは数年前に八十里越え山行でエスケープルートを使いましたが、確実にそのルートが使えそうだと確信を持てるまでに丸一日を要しました。山行記録があったとしても前年のもので、その年は使えるのかどうかの情報がネット上で見つからなかったからです。幸い、宿泊先の宿の主人に聞いてみると、「大丈夫、使えます」とのことで、安心できたのでした。

（山行部長）

2. 山行計画（巻末に掲載）

3. 教育研修

【机上研修】

日 程	対象者	研修場所	研修内容	担当講師
3/3（日）	新人	定例集会	新人オリエンテーション	千葉/秋山
3/3（日）	会員	定例集会	新人自己紹介&各部紹介	全員
4/2（火）	新人	定例集会	山の装備の常識と最新情報	小山
4/2（火）	会員	定例集会	私のトレーニング	佐藤清/秋山/土田

【実技研修】

日 程	山 名	対象者	研修内容	担当講師
3 月	角田山	参加者	雪割草を見る	小島洋
4 月	高川山	参加者	特別実技 地図読み	武内

4. 山行報告

山 名	参加者数		山行No.	やまなみ	カメラ	ヒヤリハット	特記事項
	会員	一般					
晃石山・大平山 (1/20)			—				雨天予報の為中止
鐘撞堂山 (1/20)	7		1292	齊田	小島洋	無し	
県連 浪花~御宿 (1/27)	10		1293	中村八	吉川	無し	
沼津アルプス 鷲頭山 (2/3)	8		1294	中村育	小林安	無し	

山 名	参加者数		山行No.	やまなみ	カメラ	ヒヤリハット	特記事項
	会員	一般					
北八ヶ岳（縞枯山 ～茶臼岳）	—						悪天予報の為 2/25-26 日に延期
雲竜溪谷 (2/10)	7		1295	秋山	白崎/ 鈴木	無し	
葉山アルプス (2/10)	22		1296	渡辺	矢野裕	無し	
宝篋山 (2/17)	5		1297	山田	秋山	無し	

5. 来期山行計画について

Ⓘ 未確定について確認

- ・山行のグレードを過去の山行を目安で入れましたが訂正のある場合は申し出てください。
- ・目的欄は枠の都合上簡略してます。

6. 行事山行について

1) 新人歓迎山行について

2/18 現在、参加者 40 名 + 2～3 名。

6 班構成で一班 7 名位単位。班ごとに希望コースを登る。

参加費 8,000 円は総会時に集金。雨天時の場合やキャンセル料等については、後日担当から連絡する予定。

2) 行事山行について

公開登山 リーダー、サブリーダー、サポート隊の確認

7. その他

来期装備品の購入について

冬用テントの補修クリーニングの提案があった。凡その見積額の報告もあったが、高額の為今回は予定しているロープの買え替えの検討を優先することとした。

(リーダー)

外崎 高橋芳 大畠 武内 千葉 矢野貞 本田 矢野裕 村越 大平 北田 石塚 小島洋 小林安 佐藤清
蟹江 森岡 白崎 田嶋 小島徹 秋山 松下 小野 矢野朝 土田 一氏 細谷 吉川 北川 佐藤健 郷田
室崎 Observer 飯塚 富井 鈴木 / 欠 小山 藤家 新谷

行事予定と山行計画

1. 行事予定 (令和6年3月～5月)

	月	日	行 事	場 所	備 考
当会	3 月	3 (日)	総会 定例会	湖北近隣センター ホール	13:30～15:30 15:40～17:00
		19 (火)	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
	4 月	2 (火)	定例会	我孫子北近隣センター 並木本館	19:00～20:50
		16 (火)	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
	5 月	7 (火)	定例会	我孫子北近隣センター 並木本館	19:00～20:50
		21 (火)	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
県連	3 月	2 (土)	総会	船橋市塚田公民館	13:00～18:00

2. 山行計画

日 程	分	山 名	山 域	L/企 画者	G	備 考(目的)
3/23 (土)	仮定	高川山	中央沿線	千葉	2B	旧登山道から登る
3/24 (日)	仮定	花見山	福島	高橋芳	1A	ガンバレ！ 福島
3/25 (月)	仮定	どんぐり散歩 17	柏	小野	1A	身近な里山の自然観察
3/30 (土)	仮定	角田山	新潟	小島洋	1A	雪割草を見る
4/7 (日)	仮定	宝篋山	筑波山塊	小野 /松下	1A	新人歓迎山行
4/19 (金)	仮定	どんぐり散歩 18	港区	小野	1A	国立科学博物館付属自然教育園内を観 察
4/20 (土)	仮定	高尾山～陣馬山	中央沿線	富井	2A	白富士を眺めながら新緑の尾根道を楽 しむ
4/27-30 (土～火)	仮定	至仏山～平ヶ岳	尾瀬周辺	白崎	4D	尾瀬の残雪期限定のルートを楽しむ
4 月	仮定	御岳山～大塚山	奥多摩	大畠	2A	新緑の尾根道
4 月	仮定	高川山	中央沿線	武内	1A	地図読み
5/12 (日)	仮定	岩殿山	中央沿線	松下	1B	山城に登る
5/17-18 (金～土)	仮定	長者ヶ岳 ～天子ヶ岳	富士周辺	小山	2A	富士山と駿河湾を一望する
5/28-6/1 (火～土)	仮定	礼文岳	北海道	大平	2B	レブンアツモリソウ咲く日本最北の礼 文島をトレッキング 【募集済み】
10/31～11/1 (木～金)	仮定	鳥井峠	木曽路	矢野朝	1A	中山道の木曽路歩き 【募集済み】